

ツール特集

上司・リーダー配布用

イマドキのリーダーシップ心得帳

～〇×で理解する管理者集中講義&チーム作りの勘どころ～

人事ジャーナリスト・コンサルタント 松本 利明

■昭和型マネジメントから脱皮を！

チームを挙げて目標を達成していくという組織マネジメントは引き続き重要性を増している。しかし、「多様性」に象徴される複雑な時代に突入した今、ビジネスはもはや「改善」の積み重ねでは到達できない「創造」を誘発させる次元が求められているようにも見える。管理者が発揮すべきリーダーシップもまた環境変化とパラレルの関係にあり、人・組織・ビジネスが変化しているのならば、マネジメントスタイルも変えなければ機能しなくなる。

具体的には、例えば「我慢してやれ」というよりも「喜んで取り組める」環境を整えてあげるのが役割となる。「それくらい察しろ」ではなく「分かるまで説明する」合理性や粘り強さも求められる。会社の方針からはブレず、かつ個別の問題はメンバーの裁量に委ね、意欲を削がずに能力をうまく引き出し、育成課題も仕掛けていく。そうしたさじ加減こそリーダーシップの要諦といえそうだ。すでに昭和型のマネジメントは通用しない。これからのリーダーの皆さんには、本シートを参考に新時代のマネジメントセンスを磨いてもらおう。(編集部)

構成

- No.1 昭和時代のリーダーとイマドキのリーダーの違いとは？
- No.2 納得感がある前向きな未来を描く
- No.3 達成した姿をもとに課題を設定する
- No.4 部下がイキイキ働く環境を整備する
- No.5 会社の「らしさ」に沿った判断軸を持つ
- No.6 「報連相」から「空雨傘」へ
- No.7 困難な道のりも「旅」として楽しむ
- No.8 失敗から学ばせる機会を演出する
- No.9 メンバーが考える優先度を尊重して導く
- No.10 ナマ情報の仕入れルートを持つ
- No.11 べからずセリフ集 リーダーが信頼を失うひと言
- No.12 リーダーという仕事を楽しむヒント

~~本シートのPDFファイルをご用意しました。本誌年間購読者様に限りご提供します(無料)。ご希望の方は editors@busi-pub.com まで購読者番号(本誌送付の宛名ラベルに記載)を明記の上、E-mailでお申し込みください。(TEL・FAXは不可)。2013年3月31日まで。~~

■松本利明

PwC、マーサージャパン、アクセンチュアのプリンシパルを経て現職。組織・人事戦略から経営管理、人事制度、タレントマネジメント、IT化まで一貫通貫で担当。20年間で外資系・日系大手企業から中堅企業まで300社以上の改革に着手、成功に導く。近年はグローバル化、M&A、事業再生、売上向上等、「ビジネスの結果を出すことにコミットした人材マネジメント改革」が好評。世界で最大規模の人事団体(SHRM)の日本支部(JSHRM)の執行役員を務め活躍の幅を海外に拡げている。代表的な書籍に『個人と組織を充実させるリーダーシップ 全米No.1のウルリッチ教授の処方箋』(生産性出版 共訳)がある。現在東洋経済オンライン「グローバル人事の『目』」を連載中。その他寄稿、講演多数。(株)マネジメントサービスセンター エクゼクティブアドバイザー。HR総合調査研究所 客員研究員。

●E-mail toshiaki.matsumoto@hrstrategy.jp ●URL <http://ameblo.jp/tommy-matsumoto/>

